

## SDGs 達成に向けた宣言書

令和8年4月6日


















所在地 松戸市松戸新田 129-2

名称 株式会社エー・ディー・ピー

代表者 代表取締役 三ッ井 清明

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に貢献することを宣言します。

### 1 関係するSDGs 目標（ゴール）（※該当するゴールに○を入れてください）

<p>①貧困</p> 		<p>②飢餓</p> 		<p>③保健</p> 		<p>④教育</p> 	
<p>⑤ジェンダー</p> 		<p>⑥水・衛生</p> 		<p>⑦エネルギー</p> 		<p>⑧成長・雇用</p> 	○
<p>⑨イノベーション</p> 	○	<p>⑩不平等</p> 		<p>⑪都市</p> 	○	<p>⑫消費・生産</p> 	○
<p>⑬気候変動</p> 	○	<p>⑭海洋資源</p> 		<p>⑮陸上資源</p> 		<p>⑯平和</p> 	
<p>⑰実施手段</p> 	○						

### 2 SDGs 達成に向けた経営方針等

ファッションやプリントに関わるあらゆる分野での環境負荷を減らす努力を続け、2030年にはSDGsに取り組んでいることが『当たり前』の経営となっている状態を目指します。

#### 1. 「つくる責任」を果たす資源循環型経営

大量生産・大量廃棄が問題視されるアパレル業界において、「捨てない・作りすぎない仕

組みを経営の根幹に置いています。

- ・オンデマンド生産：必要な時に必要な分だけ作ることで、デッドストック（在庫廃棄）を発生させないビジネスモデル。

- ・廃棄物の資源化：製造工程で出る廃材（転写紙やB品）を廃棄せず、RPF（固形燃料）へ転換する「ゼロエミッション」への挑戦。

## 2. 透明性の高い「見える化」経営

環境負荷を隠さず、データとして顧客に提示することで、業界全体の意識変革を促しています。

- ・CFP（カーボンフットプリント）の全件算出：商品のライフサイクル全体（素材～廃棄）のCO2排出量を数値化し、環境負荷の低い選択肢を顧客と共に考える。

## 3. 地域活性化と技術承継の両立

拠点を置く地域（墨田区・松戸市・京都市など）の産業・文化を守ることを経営の社会的責任としています。

- ・地場産業の担い手：職人の高度なプリント技術をデジタル化（DX）で補完し、持続可能な雇用と技術承継を実現する。

- ・地域文化の製品化：「北斎アロハ」のように、地元の文化的資産を現代のファッションに昇華させ、地域経済に貢献する。

## 4. パートナーシップによる社会変革

自社完結ではなく、サプライチェーン全体を巻き込んだ取り組みを重視しています。

- ・サステナブル戦略のバックアップ：自社の技術（バイオマス素材、アップサイクル等）を他社に提供し、クライアント企業のSDGs達成を支援する「パートナー」としての役割を強化。